

第10回 浜松国際ピアノコンクール開催記念
ガラ・コンサート



覇者たちによる コンチェルトの饗宴

指揮：山下一史
管弦楽：東京交響楽団

2018.9月16日(日)

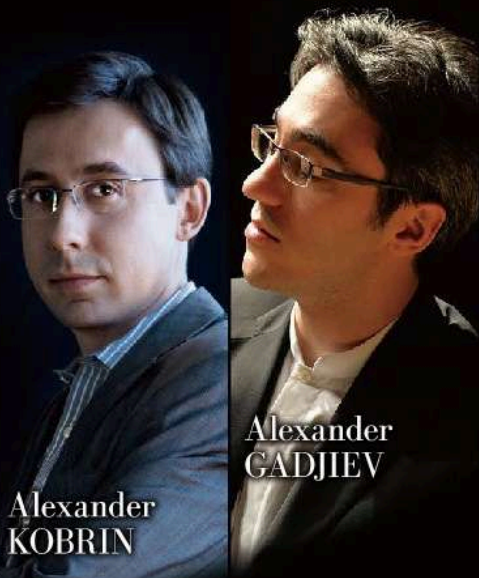
アレクサンダー・コ布林 (第5回最高位)
ブラームス：ピアノ協奏曲 第2番

アレクサンダー・ガジェヴ (第9回第1位)
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第3番

アレッシオ・バックス (第3回第1位)
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番

夢の
浜松の覇者たちが一堂に集結、
スペシャルコンサート！

©ai ueda



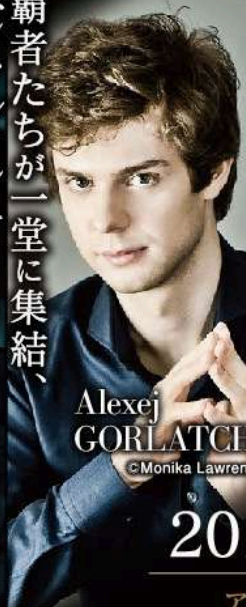
Alexander
KOBRIAN



Alexander
GADJIEV



Alessio
BAX
©Lisa Marie Mazzucco



Alexej
GORLATCH
©Monika Lawrenz



Ilya
RASHKOVSKIY



Alexander
GAVRYLYUK
©Mika Bovan

2018.9月17日(月・祝)

アレクセイ・ゴルラッチ (第6回第1位)
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

イリヤ・ラシュコフスキー (第8回第1位)
ブラームス：ピアノ協奏曲 第1番

アレクサンダー・ガヴリリユク (第4回第1位)
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番

時間 13:15開場 14:00開演 会場 アクトシティ浜松 大ホール

2公演セット券 全席指定(税込) Pコード: 782-920

単券 全席指定(税込) Pコード: 347-357

S席 13,000円 A席 11,000円

S席 8,000円 A席 6,500円 B席 5,000円 学生B席 2,500円
(24歳以下)

一般発売 3/11 (日)

一般発売 4/15 (日)

アクトシティ友の会先行発売 3/4 (日) 10:00~

アクトシティ友の会先行発売 4/8 (日) 10:00~

*9/16-9/17の2公演にご入場いただける割安でお得なセット券です。
*2公演を通して、同じ席にお座りいただけます。
*2公演セット券は予定枚数がなくなり次第、販売終了となります。

チケット
取扱い HCFオンラインショップ
<http://www.hcf.or.jp/>

アクトシティチケットセンター
(店頭販売のみ/10:00~19:00)

チケット
ぴあ pia.jp/t
0570-02-9999

アクトシティチケットセンター
セブンイレブン、サークルKサンクス
磐田市情報館(ららぽーと磐田1F)
ペイドリーム清水店、ほか全国チケットぴあ取扱店

○未就学児の入場はご遠慮ください。 ○出演者・曲目・曲順など変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催/浜松市、公益財団法人浜松市文化振興財団 ■協賛/サーラグループ ■後援/一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、FM Haro!
■お問合せ/浜松国際ピアノコンクール事務局 TEL.053-451-1148 <http://www.hpic.jp/>

第10回浜松国際ピアノコンクールの開催を記念した、これまでの覇者6名によるガラ・コンサート。
 コンクール優勝後、更なる研鑽を積み、現在は世界の第一線で活躍しているバックス、ガヴリリュク、コプリン、ゴルラッチ、
 ラシュコフスキー、ガジェヴの豪華な顔ぶれが再び浜松の地へ戻ってきます。
 指揮者はカラヤンの意思を受け継いだ山下一史氏、オーケストラは本選でもお馴染みの東京交響楽団。
 あの感動が甦る瞬間にぜひお立会いください。

2018.9月16日(日)

アレクサンダー・コプリン

第5回最高位 Alexander Kobrin

1980年モスクワ生まれ。グネーシン音楽学校、モスクワ音楽院にてタチアナ・ゼリクマン、レフ・ナウモフなどに師事。1999年プーニ国際ピアノコンクール優勝、00年第5回浜松国際ピアノコンクール最高位、05年ヴァン・クライバーン国際コンクール優勝など多くの国際コンクールで受賞多数。

これまでに、ニューヨーク・フィルハーモニック、東京交響楽団、イギリス室内管、ヴェルディ響、スイス・ロマン管等と共演。共演指揮者は、ミハイル・プレトニョフ、ミハイル・コロフスキ、アレクサンドル・ラザレフなど多数にのぼる。

教育にも力を注いでおり、グネーシン音楽学校、ニューヨーク大学スタインハート校、コロンバス州立シユオブ音楽学校を経て、現在は、イーストマン音楽学校にて教鞭をとる。ヨーロッパ、アジア各地でマスタークラスも開催し、日本、中国、台湾の国際ピアノシリーズや音楽学校でレッスンをしている。

アレクサンダー・ガジェヴ

第9回第1位 Alexander Gadjiev

1994年イタリア・ゴリツィア市生まれ。2012年にイタリア・チェゼーナのブルーノ・マデルナ音楽院を首席で卒業。2013年秋よりザルツブルク・モーツァルトテウム大学修士課程にてP.ギロフィに師事。

2014年6月、ジーナ・バッカウアー国際コンクールのセミ・ファイナリストに、また8月には第60回F.プーニ国際コンクールのファイナリストとなり、2015年には、海老彰子、M.アルゲリッチ、S.ババヤン、P.ネルセシアン等が審査員に名を連ねた第9回浜松国際ピアノコンクールにて弱冠20歳で優勝、および聴衆賞を受賞した。同年フェニーチェ劇場でY.テミルカーノフ指揮のもとシヨスタコヴィチのピアノ協奏曲第1番を演奏、スロヴェニア・フィルハーモニックホールでデビューコンサートを開催。

最新CDはAcousence レーベルより2017年秋にリリースされた「リテラリ・ファンタジー」と題するシューマンとリストの作品集。

アレッシオ・バックス

第3回第1位 Alessio Bax

浜松国際ピアノコンクールとリーズ国際ピアノコンクールで優勝し注目を浴び、その演奏は「聴衆を独自の音楽世界へと誘う」(ザ・インデペンデント紙)、「技量と詩情の絶妙なコンビネーション」(デイリー・テレグラフ紙)など、叙情的な演奏と洞察力に富んだ解釈で高く評価されている。これまでに、ロンドン・フィル、バーミンガム市響、ロイヤル・フィル等のオーケストラに客演。サイモン・ラトル、マリン・オルソップ、アレクサンドル・トリエフなどと共演した。ローマ、パリ、ロンドン、ニューヨークなど、世界各地でリサイタルを開催。室内楽にも力を注いでおり、クイーン・エリザベス・ホールでの国際ピアノ・シリーズ、ヴェルビエ音楽祭などにも招かれている。レコーディングも数多くこなし、2004年のCD「バロック・リフレクションズ」は英グラモフォン誌でエディター・チャイスに選ばれた。演奏活動の傍ら、南メジスト大学で教鞭を執っている。ニューヨーク在住。

2018.9月17日(月)

アレクセイ・ゴルラッチ

第6回第1位 Alexej Gorlatch

1988年ウクライナ・キエフ生まれ。ハノーファー音楽大学にてカール・ハインツ・ケマーリンクに師事。数多くの受賞歴があり、特に06年アウグスト・エファート国際コンクールでの優勝と、リヒャルト・ラウグス・ベートーヴェンピアノコンクール第1位、併せて18歳の若さでベートーヴェン後期ソナタ作品最優秀演奏賞受賞は特記に値する。06年浜松、09年ダブリン、11年ミュンヘン各国際コンクール優勝。ニューヨークのカーネギーホール、ロンドンのウイグモアホール、コンツェルトハウス・ベルリン、ベルリン・フィルハーモニー大ホールなどで公演。ウクライナ国立管弦楽団、ドイツ室内管弦楽団、NHK交響楽団など数々のオーケストラと共演している。CDも6枚発表しており、最新はソニー・クラシカルより「ストラヴィンスキー・ピアノと管弦楽のための作品集」をリリースしている。フランクフルト音楽・舞台芸術大学教授。

イリヤ・ラシュコフスキー

第8回第1位 Ilya Rashkovskiy

1984年ロシア・イルクーツク生まれ。98年V.クライネフ国際コンクール優勝。同年、ロストロポーヴィチ財団の奨学金を授与された。各地の音楽祭に招かれる他、A.カッツやキエフ交響楽団とも共演。01年ロニー・ティボ国際音楽コンクール第2位、05年香港国際ピアノコンクール優勝、07年エリザベト王妃国際音楽コンクール第4位、2011年ルーベンシュタイン国際ピアノコンクール第3位等の受賞を経て、2012年浜松国際ピアノコンクールにて見事優勝を果たし、聴衆賞、札幌市長賞も受賞。翌年2013年には優勝者記念コンサートツアーが国内外25公演にわたり開催された。ハノーファー音楽大学で故V.クライネフ氏に師事後、エコール・ノルマル音楽院にてM.リビツキに師事。最新CDは日本アコースティックレコーズより2016年3月にリリースされた「スクリャービンピアノ・ソナタ全集」。

アレクサンダー・ガヴリリュク

第4回第1位 Alexander Gavrylyuk

1984年生まれ。7歳よりピアノを始め、9歳で初めてオーケストラと協奏曲を演奏した。99年第3回ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール優勝。2000年には浜松国際ピアノコンクールで優勝、05年、ルーベンシュタイン国際ピアノコンクールにて、第1位及び金賞、ベスト・コンチェルト賞を受賞した。

10年、ロイヤル・コンサート・ヘボウ管との初共演以降、マスター・ピアノ・シリーズにおけるリサイタルあるいは同オーケストラとの共演のため、毎年アムステルダムで公演を行う。ニューヨーク・フィル、ロサンゼルス・フィル、イスラエル・フィル、ロッテルダム・フィルなどのオーケストラや、ゲルグエフ、ネーメ・ヤルヴィ、プロム・シュテット、アシュケナージ、ラザレフ、ペレレンコなどの指揮者と共演している。

09年には、アシュケナージ指揮/シドニー響とプロコフィエフのピアノ協奏曲を録音し、高い評価を受けた。

山下一史 (指揮)

Kazufumi Yamashita, conductor

1984年桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。86年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。85年12月からカラヤンのアシスタントを務め、ベルリン・フィル演奏会で急病のカラヤンの代役としてシーズン姿のまま「第九」を指揮し話題となる。以降、アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者などを歴任。2002年より大阪音大・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者、08年4月より同同名指揮者。06年より仙台フィル指揮者として迎えられ、R.シュトラウス「英雄の生涯」などのCD制作を行うなど積極的な活動を展開。09年4月から12年3月まで同団正指揮者。09年4月にはサンクトペテルブルク響定期に出演し、大成功を収めた。2016年4月より千葉交響楽団(旧ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉)音楽監督に就任。東京藝術大学音楽学部指揮科招聘教授。

東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東京交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とはパートナーシップ協定を結び、コンサートやアウトリーチ活動を展開しているほか、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。教育面では「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」が注目されている。海外公演も多く、これまでに57都市76公演を行っている。音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スターン、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。2016年に創立70周年を迎え、同年10月ファン・楽友協会を含むヨーロッパ4カ国で公演を行い各地で好評を得た。

第10回 浜松国際ピアノコンクール

2018.11.8(木) - 11.25(日)

会場 | アクトシティ浜松 主催 | 浜松市 協賛 | 浜松市文化振興財団 Hamamatsu Cultural Foundation

オープニングコンサート	11月07日(水)
出場順抽選会	11月08日(木)
第1次予選	11月09日(金)~11月13日(火)
第2次予選	11月15日(木)~11月17日(土)
第3次予選	11月19日(月)~11月20日(火)
本選	11月23日(金)~11月24日(土)
入賞者披露演奏会	11月25日(日)

私のまちにSALA、暮らしとともにSALA



SALA サーラグループ